

高砂市議 一人会派 緑の党グリーンズジャパン

井奥まさきの市政ニュース

2015. 4、5

(月刊+：4月5月合併号 通算 101号)



[自宅] 兵庫県高砂市荒井町新浜 2-19-9

Tel 079-444-2343 Fax 444-2418

E-mail:iokuioku3@gmail.com

http://ioku3.sakura.ne.jp 新ブログも

ツイッター：@ioku3 Facebook・LINE: 井奥雅樹

「井奥まさき」
でweb 検索を

変則ですが、通算100号は5月にカラー版で発行します。16年間コツコツと発行してきて100号を超えることができました。

■予算編成過程の公開についての私の質問は、3月22日の神戸新聞朝刊で「公表へ透明化の一步」として取り上げられました

当初予算 幅広い事業の一方で、巨大ポンプ場調査の原案修正も

高砂市議 井奥まさき

○井奥視点から見た

平成 27 年度でこうなる

- ・全世帯が中学生までの医療費無料化 (7月から)
- ・地方創生、総合計画、行政改革、定員適正化など幅広く議論する総合政策審議会を設置
- ＜公共施設管理計画もやっと着手＞
- ・子ども、子育て新制度スタート
- 当面はデメリットも…施設の確保は
- ・教育分野に市長の役割が増える
- ・庁舎建て替え、JR 曾根駅の結論が
- ・沖浜平津線は土地買収が終了
- 平成 28 年度中に完成予定
- ・治水対策事業が本格化 鹿島・松村川の巨大ポンプ場も調査段階へ
- ・図書館が来年 2 月に開設 準備も
- ・介護保険料が値上げ 近隣一に
- ・市民病院は昨年度並みの赤字予算
- 新院長のもと再生なるか

国・県の指示がないと…

もっともボリュームが大きい平成 27 年度当初予算を審議しました。基本的には 1 年間に行われる

市の事業すべてが予算として示されるわけですから、幅広く膨大です。左に示したのが私が関心を持って積極的に議論した主なものです。それぞれの論点についてはニュースで取り上げて行きたいと思います。

私が以前から指摘していますように、国・県の政策や前例を除いて行けば高砂市の新しくやれることは 1 割以下と言えます。しかし、その中でも「高砂方式」とも言える先進的な方向性は可能です。ところが、残念なことに新しく創り上げるどころか、国・県の指示がないと、とたんに政策の質が悪いというのが現状です。残念です。

約 60 億円の巨大ポンプ場の用地調査費 説明がつかずに原案修正
今回、高砂市議会でも数年ぶり

に当初予算の原案修正が行われました。治水計画の一環として、鹿島・松村川の河口に約 60 億円の巨大ポンプ場を建設する市単独の計画があります。これを産廃不法投棄された個人の土地を買収して建設するとの提案がされました。

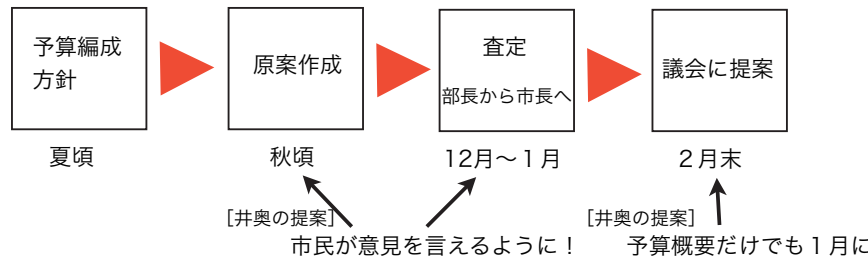
土地買収にあたり、「産廃撤去費用」を調査する予算でしたが、私をはじめとする市議の質問に対して、市は苦しい答弁の連続でした。

とりわけ「産廃撤去は土地所有者の責任で処理する約束であったにも関わらず、公的な税金を投入して処理していいのか」という根本的な質問に市はまったく答えられなかったのです。

結果として原案撤回となりましたが、効果も含めこの巨大ポンプ場建設計画には注意が必要です。

一般質問

市民が意見を出せるように 予算編成過程の公開を／市民共同発電所



3月議会の一般質問は5年ぶりの「休日議会」として3月21日(土)に実施されました。私は2つのテーマで一般質問をしました。

○予算編成過程の公開を

井奥 年4回開催される市議会のうち、1年の予算を決める「3月議会」が一番重要です。そこに「当

初予算」が提案されますが、ギリギリまで予算書は出てこない上に3月31日までに決定しなければなりません。これでは市民に意見を聞くこともできません。

千葉県我孫子市で実施されているように、原案ができた段階／部長査定前／市長査定前といった予

算の編成過程から公開して意見を求めてはどうですか？また、せめて予算編成方針公表や兵庫県明石市のように1月に予算の概算だけでも公表してはどうでしょうか。

市長 予算編成方針の公表は来年度から実施する。その他は研究。

○市民共同発電所の育成

井奥 エネルギー産業での仕事づくりの一環として、市民がお金を出し合い、公共施設や自治会館の屋根を使用して発電を行う「市民共同発電所」の育成を。

市長 各地の事例を研究する

■文科省の資料によれば、G7で最大のドイツは10万人に10館、G7で下位のアメリカでも10万人に5館。文化を育成にするにはやはり図書館を充実させることが第一歩です。

子育て日記 子どもの話は「わからん！」(キンチョーのCM風に)



昔あったCMの口調で...

昔あったキンチョーのCMで年配のお父さん

と子どもが話をしている、お父さんが「お前の話はつまらん！」と怒りだすシーンがありました。その口調が面白くてヒットしたのですが、その口調で「お前の話は

わからん。」と言いたくなることがよくあります。特に息子の話は本当に…「わからん」

頭の中がごっちゃになっている？

学童や習い事の送り迎えへの車の中で「今日学校で何があった？」と聞いた話で混乱することがよくあります。先日も車の運転中なので、息子を介して妻と電話で話をしましたが、まったく違う待ち合わせ場所に連れて行かれました。どうも空想と現実がごっちゃにな

るようです。

娘よ、お前もか

あまり「性差」は言いたくないですが、男の子の方がそうした傾向が強いようです。同じことは娘に聞いた方が確実です。

ただ、先日USJに行った時のことです。子どもたちと離れ、「今どこにいるの？」と聞いた時、娘は今いる場所を説明をしているのですが、いっさいわかりませんでした。娘よ、お前もか。

図書館 図書館の貸し借りネットワーク 将来の3市2町連携をめざすべき

各図書館の蔵書管理システム

自治体	業者	最新更新
高砂市	未定	2016.2
加古川市	NEC	2010.11
播磨町	NEC	2011.4
稲美町	富士通	2011.12
姫路市	富士通	2010.10

3市2町のネットワーク

平成28年(2016)2月に開館する図書館について、3月議会に取り上げた視点の一つを紹介します。まず、新図書館では「各地区の公民館」との連携を図る計画で

す。素晴らしいことです。「休日は家族まとまって車で図書館で本を借り、平日は近くの公民館で返却」ということが可能になるからです。

でも、どうせなら加古川市、姫路市の大きな図書館と連携できればもっと良かったはず。「姫路で借りて、地元公民館で返す」ような仕組みづくりです。

全国平均で見ると「10万人に2館」というのが現状で、本来は高砂市も分館があってもいいほど

なのです。しかし、財政状況から見ても無理なのは明らかです。ならば、せめて「姫路・加古川市」を中央館として位置づける連携ができれば館の役割分担もできます。

コンピューターの統一から

連携には蔵書管理システムの統一から始める必要があります。柔軟な形での新規導入をはかり、今年は無理でも、次の5年後の更新時期にはコンピューターの統一と館同士の連携手段を考えるべきと提案しました。

ゴミ処理施設 2度目の排ガスからのダイオキシン基準超過 現在の施設は大問題！

1年間で2度も基準超

1号炉	2014年8月測定値が排ガスの基準超過
2号炉	2015年2月測定値が排ガスの基準超過

	計画施設	現在の炉
焼却方式	ストーカ式	流動床式ガス化熔融炉
施設規模	429t/日 (3基)	194t/日 (2基)



またもや！基準超過

梅井にある現在のゴミ焼却施設の排ガスでまたもや基準超過のダイオキシンが検出されました。ダイオキシンは常時測定することが不可能で、サンプルをとってから結果が出るまでに時間がかかります。市民生活への安全性に疑いのある現在の炉は平

成28年度末 [2016] という現在の計画を前倒しにして平成27年度末までに廃止すべきです。

安全でコストが安くなる新炉

「だから危険なゴミ焼却施設は反対」という意見が強くなりそうですが、ゴミゼロ社会はいきなり実現しません。現在計画中の炉は「ストーカ方式」という、昔な

がらの方式がゆえに安定性があり実績も豊富です。また、維持コストも現在の年10億円から年3~4億円程度と圧倒的に安くなります。交通渋滞の問題や「次の次のゴミ焼却施設は高砂市以外で」といった条件を詰めた上で、新炉がさらに安全なものになるための議論に集中すべきです。

いまから広域ゴミ処理施設計画を白紙に戻すためには2市2町の議決をすべてやり直すこととなります。非現実的な反対論ではなく、条件整備に議論を移すべきでしょう